

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133704								
事務事業名	市民まちづくりプラザ事業	担当部局・課	市民部 まちづくり課						
事業内容	まちづくり活動に関わっている市民に対して、①まちづくり活動を行う団体の支援及び連携 ②まちづくり活動を行う市民の交流促進 ③まちづくり活動に関する情報、資料の収集及び提供 ④まちづくり活動に関する講座等の開設 ⑤まちづくり活動に関する啓発 等を実施する。								
				事業開始(予定)年度	平成16年度				
	事業終了(予定)年度	—							
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現						
		項目	きめ細かな地域福祉の推進						
		施策	総合的なコミュニティ施策の推進						
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。								
事業の目的	伊丹市まちづくり基本条例の施行後、市民の参画と協働のまちづくりの機運が芽生えつつあるが、より一層市民の参画と協働のまちづくりを推進し、自治の主権者である市民の主體的なまちづくりを支援することによって、市民自治の実現を図る。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。) (款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) 市民まちづくりプラザ運営費 (目) 文化コミュニティ費						
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)						
	事業費	11,612千円	財源内訳		事業費	11,555千円	財源内訳		
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—	
			市債	—			市債	—	
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—	
	一般財源(市税等)		11,612千円	一般財源(市税等)		11,555千円			
投入人員	0,30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0,30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			
人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
経費合計	14,182千円			経費合計	14,125千円				
活動指標	指標名(単位)	利用者数(人)			計画と実績	年度	H17年度	H18年度	
	意味・算式等	多くの市民等に利用していただき、まちづくり活動の拠点とするため				区分	計画値	3,500	8,000
						実績値	6,515	—	

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。